



- Graph 1株あたり配当金
- Graph 年間配当額・自己株式取得額
- Graph 株主構成

[人々とムラタ]

株主・投資家様への責任と行動

株主・投資家様へのタイムリーかつ公平で正確な情報開示に努めています。

また株主様の権利を尊重し、議決権行使しやすい環境を整えています。



情報開示

正確な情報を、公平に適時開示することが基本

ムラタの情報開示は株主・投資家様をはじめとするステークホルダーに対し、情報を正確かつ公平、適時に開示することを、基本としています。情報開示の方法は、村田製作所が株式を上場している証券取引所の適時開示規則に従い、同規則に該当する情報を証券取引所の適時開

示システムに公開します。これらの公開情報は、ウェブサイトにも速やかに掲載し、一般投資家様にも公平に伝達されるよう努めています。また、適時開示規則に該当しない情報も、ムラタを理解していただくために有効と思われる情報については、報道機関やウェブサイトを通じて公開します。

ムラタの情報開示方針（ディスクロージャー※・ポリシー）は、ウェブサイトに記載しています。



*ディスクロージャーとは？

企業が経営内容などの情報を公開すること。
近年、粉飾決算や情報隠蔽といった問題の発生から、企業の誠実なディスクロージャーが重要視されています。

配当政策

安定的増配を目標に

株主様への利益還元策としては、配当による成果の配分を優先的に考え、長期的な企業価値の拡大と企業体質の強化を図りながら、1株あたり利益を増加させることによって配当の安定的な増加に努めることを基本方針としています。

この方針に基づき、連結ベースでの業績と配当性向ならびに将来の発展のための再投資に必要な内部留保の蓄積などを総合的に勘案したうえで、配当による利益還元を実施しています。2008年度の1株あたりの配当金は、昨年度と同額の100円と

しました。2009年度は70円を予定しています。また、村田製作所は資本効率の改善を目的に自己株式の取得を適宜実施しており、2008年度は15,000百万円、4,796,000株の自己株式を取得しました。

株主総会への出席と議決権行使の推進

招集通知の早期発送などによる議決権行使率の向上

村田製作所では、個人株主様をはじめ、外国人株主や機関投資家の皆様が、議決権行使しやすい環境を整備し、多くの株主様の声を経営に反映させるさまざまな工夫をしています。
株主総会の案内については、国内トップクラスの早期化を行い、法定の2週間前を超える約4

週間に前招集通知を発送し、議決権行使の検討・準備のための便宜を図っています。また、招集通知を英訳し、ウェブサイトにも掲載しています。さらに、インターネットを介して議決権行使していただけるよう、パソコン、携帯電話からアクセスできる専用サイトも設けています。加えて、機関

投資家様の議案検討の利便性を高め、適確に権利行使ができる「議決権電子行使プラットフォーム」にも参加しています。

なお、株主総会では、図表・写真などを用いたわかりやすい説明やムラタセイサク君®のデモンストレーションなどで、親しみやすさを演出しています。

株主総会以外でのコミュニケーション

国内外で定期的に説明会を開催

アナリスト・機関投資家様にムラタの経営状況や事業戦略を理解していただくため、定期的に説明会を開催しています。

年1回の社長による会社説明会をはじめ、年4回、

担当役員による決算説明会を開催しています。海外の投資家様に対しては、欧米で社長による会社説明会を年1回実施しています。
また、株主・投資家様に公平、迅速に情報開示

するため、ウェブサイトの「投資家情報」コーナーに、決算短信・決算説明会資料、会社説明会資料、有価証券報告書、アニュアル・レポート、適時開示情報などを掲載しています。

